

【令和 2 年 1 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 1 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 1 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【新型コロナウイルスによるサービス業への多大な影響が確認された】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-15.9（前月-13.5、前年同月-8.4）で、前月比 2.4pt 悪化した。サービス業において新型コロナウイルスによる影響は大きく、業況を押し下げた。その他業種でも懸念する声が聞かれ、今後も各地域・各業種での悪影響が予想される。

【製造業】

業況は-18.6（前月-19.6、前年同月-7.9）と前月に比べ 1.0pt 好転した。前月海外情勢の影響で売上が悪化に転じた機械金属業で小ロットではあるが受注回復が見られた点が業況を押し上げた。しかし新型コロナウイルスによる影響を懸念する声もあり、先行きに注視が必要と言える。

【建設業】

業況は 5.9（前月 2.9、前年同月 2.9）と前月に比べ 3.0pt 好転した。台風を含む災害復旧関連工事は未だ受注がある他、西部地域では土木工事の特需が有り、業況を押し上げた。

【小売業】

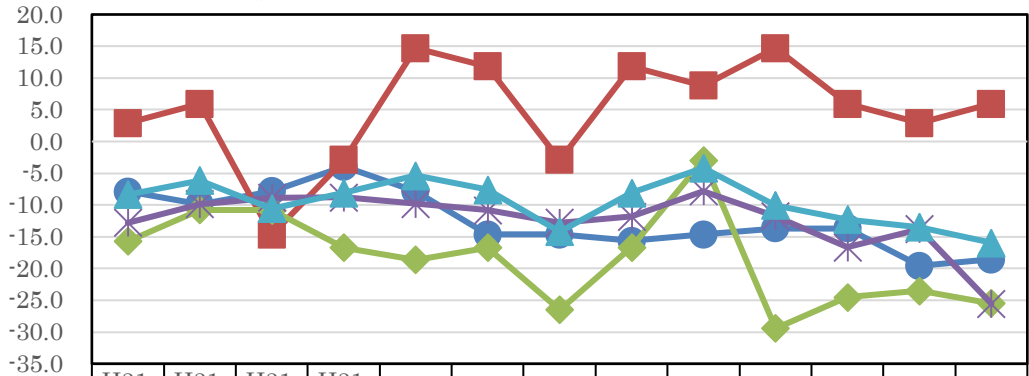
業況は-25.5（前月-23.5、前年同月-15.7）と前月に比べ 2.0pt 悪化した。消費税増税による消費の減退が続いている他、暖冬の影響から衣料品小売業や食料品小売業の季節商品も振るわず業況を押し下げた。

【サービス業】

業況は-25.5（前月-13.8、前年同月-12.8）と前月に比べ 11.7pt 悪化した。新型コロナウイルスの影響は県内全域で見られ、外国人観光客の減少や旅館予約のキャンセル等が相次ぎ業況は大幅に悪化した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：小磯・中村〕

<令和2年1月期 業種別業況DI推移表>



	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1
● DI値 (製造業)	-7.9	-9.8	-7.8	-3.9	-7.8	-14.7	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6
■ DI値 (建設業)	2.9	5.9	-14.7	-2.9	14.7	11.8	-2.9	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9
◆ DI値 (小売業)	-15.7	-10.8	-10.8	-16.7	-18.6	-16.7	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5
✳ DI値 (サービス業)	-12.8	-9.8	-8.8	-8.8	-9.8	-10.8	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5
▲ DI値 (全業種平均)	-8.4	-6.1	-10.5	-8.1	-5.4	-7.6	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9

<経営指導員コメント抜粋>

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・機械金属製造業にて、最近は減少傾向であった受注が小ロットではあるが増加し、売り上げは例年並みに戻りつつある。(伊豆)
- ・事業所によっては中国の新型ウイルスによる現地工場の稼働率の低下が懸念される。(富士駿東)
- ・食料品製造業では仕入単価が若干上昇している様子が見られ、先行きが懸念される。(中部)
- ・売上は増加しているが、材料費高騰により利益率は減少傾向にある。(中東遠)
- ・機械金属業では3月までの仕事は順調に推移しており生産調整は見受けられない。(西遠)

【建設業】

- ・台風被害の補修工事需要が一巡した段階で、これまでは順調だったが、今後の受注量や売上に注意が必要である。(伊豆)
- ・消費税引き上げ後、厳しい状態が続いていたが、新築・リフォーム等徐々ではあるが、需要が増加している。(富士駿東)
- ・災害復旧予算の工事が増えてきている。(中部)
- ・増税前の受注が残っているが、増税後の受注は低調で先行きに不安を感じる。(中東遠)
- ・三遠南信自動車道関連の下請け・孫請けにより、多少は売上額が増加している。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・消費税の影響と推測されるが、消費の落ち込みが各店で聞かれる。(伊豆)
- ・食品小売については軽減税率が適用されてはいるものの、原材料費や輸送費の上昇、経費支出の増加で事業者の収益性悪化に繋がっている。(富士駿東)
- ・暖冬の影響で冬物衣料について例年ほど売上が伸びていない。(中部)
- ・暖冬の影響で暖房器具の売れ行きが良くない。(中東遠)
- ・食料品小売において、暖冬の影響で葉物野菜が安価となった。季節商品(鍋物等)も売上が伸びない状況が続いている。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・新型ウイルスの影響でキャンセルが出始めた。中国資本のホテルでは100名単位のキャンセルがでている。(伊豆)
- ・宿泊業は、外国人のキャンセルがあり売上が減少した。(富士駿東)
- ・新型ウイルスの影響で昨年に比べて外国人(アジア系)の来訪客が減少した。(中部)
- ・旅館業において働き方改革の影響もあり、泊りの営業マンの利用が激減した。(中東遠)
- ・年明けのこの時期は顧客の消費が減少しているとの声がある。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年1月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-11.7	悪化
売上	-14.6	-0.1	減少
仕入単価	14.8	17.6	低下
採算	-23.5	-23.5	不変
資金繰り	-11.7	-14.7	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-17.6	-11.7	悪化
売上	-8.9	-2.9	減少
仕入単価	8.9	2.9	上昇
採算	-11.7	-14.7	好転
資金繰り	-11.7	-11.7	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-35.3	好転
売上	-20.6	-20.6	不変
仕入単価	8.8	17.7	低下
採算	-11.7	-8.9	悪化
資金繰り	-17.7	-14.7	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	5.9	2.9	好転
売上	5.9	5.8	増加
仕入単価	17.7	23.6	低下
採算	-8.8	-8.8	不変
資金繰り	-8.8	-5.9	悪化

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.4	-20.6	悪化
売上	-20.6	-26.5	増加
仕入単価	5.9	20.6	低下
採算	-23.5	-23.6	好転
資金繰り	-14.7	-26.5	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.6	-20.6	悪化
売上	-23.6	-14.7	減少
仕入単価	20.6	23.5	低下
採算	-38.2	-38.2	不変
資金繰り	-20.6	-23.5	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.5	-29.4	好転
売上	-17.6	-29.4	増加
仕入単価	20.6	14.7	上昇
採算	-20.6	-23.5	好転
資金繰り	-20.6	-20.6	不変

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.6	-14.7	悪化
売上	-14.7	-11.7	減少
仕入単価	14.7	8.8	上昇
採算	-5.8	-3.0	悪化
資金繰り	-26.5	-17.7	悪化

9.洗濯業

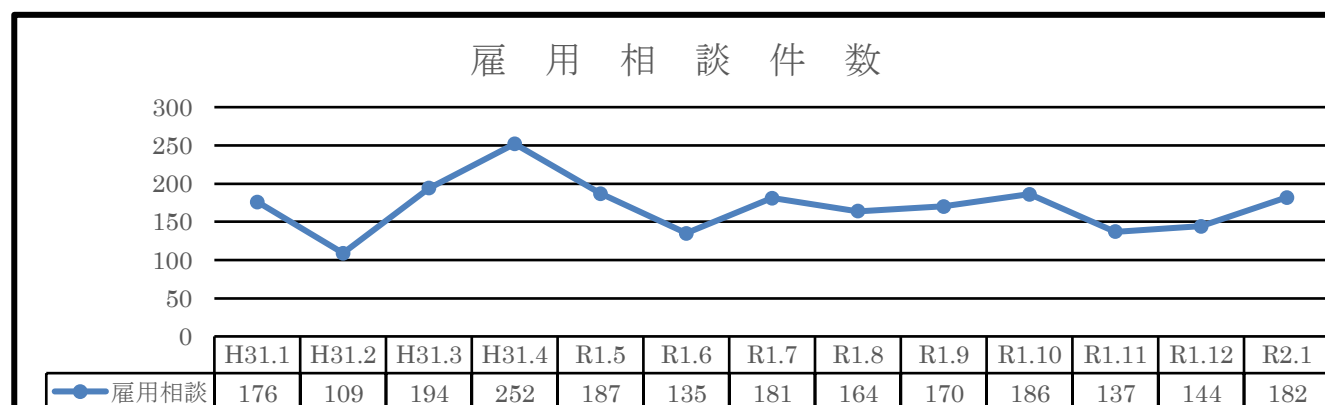
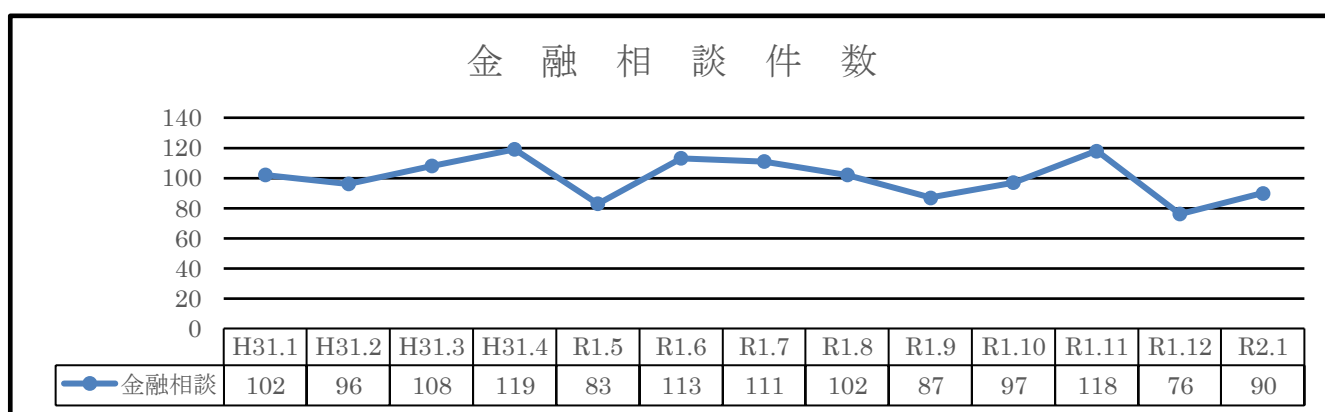
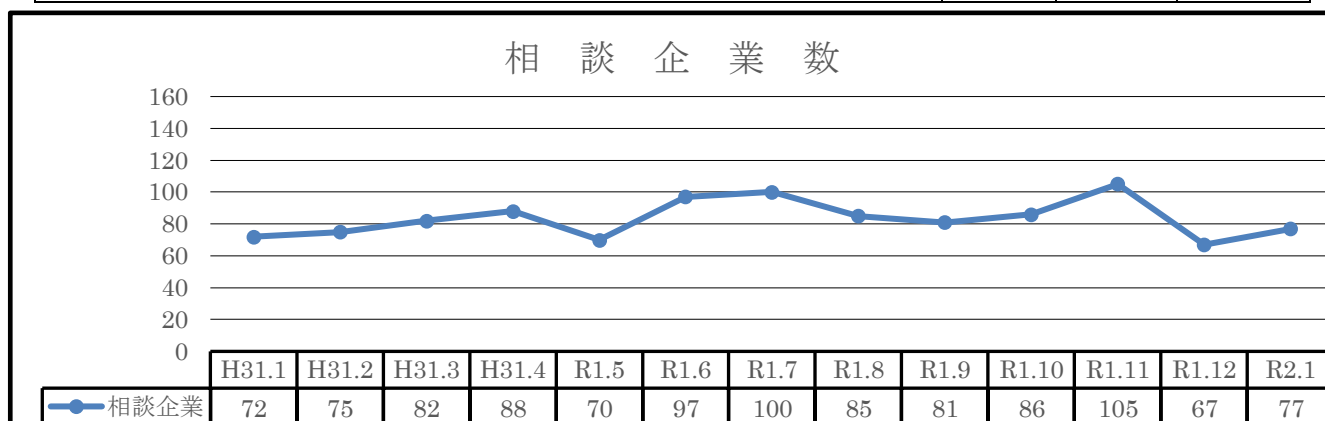
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-32.4	-23.6	悪化
売上	-29.5	-23.5	減少
仕入単価	17.6	20.6	低下
採算	-17.6	-20.6	好転
資金繰り	-11.8	-11.8	不変

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-3.0	悪化
売上	-14.7	-3.0	減少
仕入単価	5.9	8.8	低下
採算	-8.9	-5.9	悪化
資金繰り	-14.7	-8.8	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年1月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	77	67	10
【金融相談件数】	90	76	14
新規融資(借換えを除く)	59	45	14
既存債務の借換え	18	28	-10
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	12	3	9
【雇用相談件数】	182	144	38



【金融相談】

金融相談件数は、90件と前月(76件)に比べ14件増加した。設備投資の相談から利子補給制度活用相談まで多岐にわたり、先月から引き続きの増加となった。

＜経営指導員コメント＞

- ・建設業者の前向きな判断による設備投資相談がある。積極的に支援する。(伊豆)
- ・運転資金の融資相談が2件あった。マル経にて対応した。(中部)
- ・営業車両購入資金など設備投資への資金調達の相談があった。(中東遠)
- ・マル経融資の相談と利子補給の説明が多かった。年も変わり、今後に向けての相談が増えたと感じる。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、182件と前月(144件)に比べ38件増加した。日頃の相談に加え、年度替わりが近付き、退職手続きや新規雇用手続きの相談が増加した。

＜経営指導員コメント＞

- ・3月の退職・4月の就職に向けて相談が増加傾向。今後も増加が見込まれる。(伊豆)
- ・雇用保険取得2件・喪失2件の相談有り。その他労働時間についての相談もあった。(富士駿東)
- ・事業所廃止の際の従業員の取り扱い方についての相談があった。(中部)
- ・雇用保険の取得に関する相談が多かった。(中東遠)
- ・従業員の賃金や雇用保険加入に関する相談が多かった。従業員の採用のために、就業規則を整備する必要性を理解する企業が増えてきている。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・2月10日からの「みなみの桜と菜の花まつり」は多くの観光客が訪れる当地域の繁忙期であるが、今年は桜の開花時期が早く、例年は3月まで集客がみられるものの今年は厳しい状況となることが見込まれる。(南伊豆町)
- ・コワーキング施設「itolierはまきた副都心」が2月27日よりオープンする。(浜北)
- ・みそまんプロジェクトを継続し、新メニューの開発や近隣の中学校の給食に提供するなど知名度向上のPRに努めている。(奥浜名湖)
- ・観光協会や関所周辺自治会等ではじめた観光事業「牡蠣小屋」が着地型観光の試みとして今年で8年目となる。今年は50年ぶりの不漁であり養殖牡蠣の漁獲高が半分以下となった。期間については牡蠣の総数が少ないため「牡蠣が無くなり次第終了」であるが、なるべく長い期間営業できれば、冬枯れした観光施設の活性化につながると考える。(新居町)